

問4 東京八王子線と新奥多摩街道線についてお伺いします。

ア.「まちの将来像」に関するイメージ

①まちの土地利用イメージ

選択肢	割合
一戸建て住宅が中心の住宅地	23.4%
一戸建て住宅やアパートなどが調和して建つ住宅地	26.6%
一戸建て住宅やアパートなどと比較的大きなマンションが調和して建つ住宅地	10.7%
比較的大きなマンションが中心の住宅地	1.6%
住宅と店舗・事務所が共存するまち	34.3%
店舗・事務所が中心のまち	2.6%
その他	0.9%

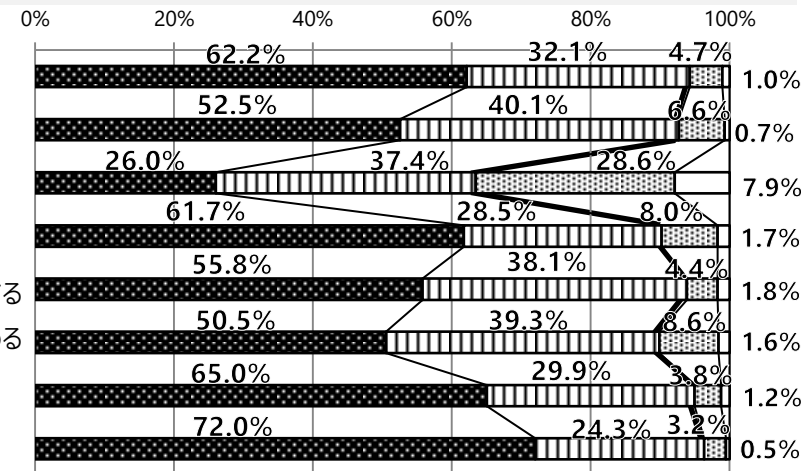
②まちの建物高さイメージ

選択肢	割合
1~2階建(高さ6m程度)の建物で構成されるまち	26.2%
3階建(高さ10m程度)以下の低層の建物で構成されるまち	46.7%
4~5階程度(高さ15m程度まで)の中層建物も立地するまち	18.2%
6~8階程度(高さ25m程度まで)の中層建物	5.1%
9階程度以上の高層建物も立地するまち	3.4%
その他	0.3%

⇒土地利用としては「住宅と店舗・事務所が共存するまち」の割合が高く、建物高さとしては「3階建以下の低層の建物で構成されるまち」の割合が高くなっています。

イ.「まちの将来像」を目指した取組

- ①周辺の住宅地に配慮して、建物の高さを適切に抑制する
- ②隣地との敷地境界から、ある程度の距離を取って建物を建てるようにする
- ③商業を活性化していく
- ④周辺住宅地にふさわしくない店舗や事務所等の立地を防ぐ
- ⑤震災時に倒壊の危険性があるブロック塀などの設置を抑制する
- ⑥敷地まわりの緑やゆとりを確保するため、敷地の緑化を進める
- ⑦狭い道路の拡幅や道路の隅切りを確保する
- ⑧災害時の避難路や緊急輸送道路となるよう、沿道建築物を燃えにくく、壊れにくい建物にする



■重要 □やや重要 ▨あまり重要でない □重要でない

「◎その他、重要だと思うこと」 (抜粋)

- ・緑地や公園を多くする。
- ・住宅の耐震を推進する。
- ・住環境が守られるのかとても心配。
- ・歩車分離式信号の設置
- ・車両の極端な増加は望まない。
- ・高層住宅はふさわしくない。

⇒「重要」「やや重要」と回答された割合は全体的に高い傾向を示しており、ほとんどの項目において9割に近い割合を示しています。

西原町2~4丁目地区のまちづくりについてご意見・ご要望等

- ・静かな住環境が気に入っている。必要以上のお店やマンションやアパートなどはこれからは建てないでほしい。
- ・空き家等の再利用などで若い人口の増加を期待する。
- ・小さな子供が遊べる公園がほしい。
- ・明るく安全なまちづくりをしてほしい。
- ・集約したアンケート結果を公開してほしい。

問5 勉強会への参加意向

選択肢	割合
是非参加したい	7.1%
都合が合えば参加したい	70.7%
参加したくない	22.2%

西原町2~4丁目地区まちづくりニュース

【アンケート調査結果(概要版)】 平成29年12月発行

日頃より、市政へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。  
 本年7月に西原町2~4丁目地区の地区住民・地権者の皆さまを対象に、「まちづくりアンケート調査」を実施しましたところ、およそ3割の皆さまからご回答いただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。  
 このたび、アンケート調査結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。(2ページ以降に対象地区の調査結果を記載しています。)

アンケート調査結果について

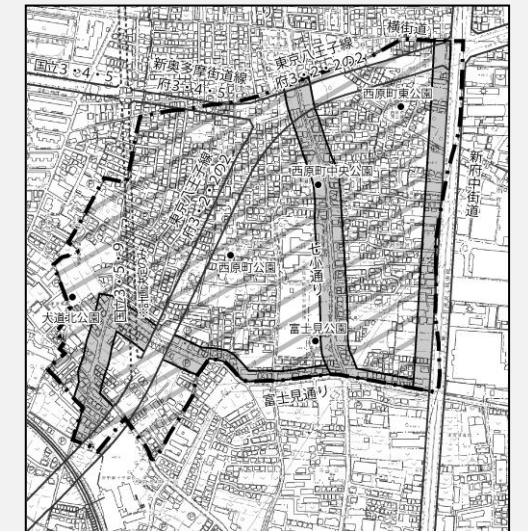
実施期間：

平成29年7月7日(金)

~24日(月)

回収率

地区名	配布数	回収数	回収率
西原町2~4丁目	1,742	623	35.8%



- 西原町2~4丁目地区
- 低密度住宅ゾーン
- 中密度住宅ゾーン
- 近隣商業ゾーン

「まちづくりアンケート調査に関する報告会」を開催しました

北山町・西原町地区は、新府中街道の交通開放や現在事業が進められている東京八王子線、新奥多摩街道線の整備などにより、今後周辺環境の変化が予想されます。特に、北山町1丁目及び2丁目地区は、狭い道路が多い地域で、東京都が策定した「防災都市づくり推進計画」において、「木造住宅密集地域」に該当しています。

これらの課題などを地域の皆さまと共有するため、まずは地元の自治会長の皆さまなどを対象に「まちづくりアンケート調査に関する報告会」を合同で開催し、アンケート調査結果を報告させていただきました。今後につきましては、まちづくりニュースを通じて、地域の皆さまに随時お伝えさせていただきます。



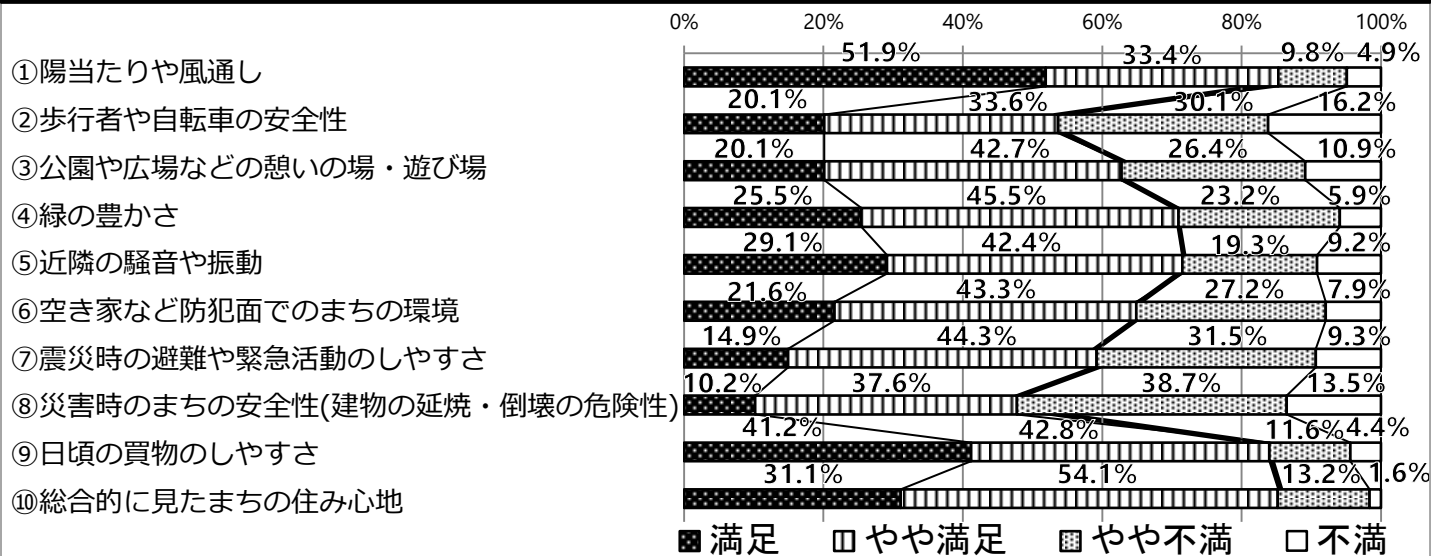
報告会の様子

日時	11月15日(水)19:00~20:30
場所	武蔵台文化センター
出席	6名
内容	アンケート調査結果について 今後のまちづくりの進め方について

発行・問合せ先：府中市 都市整備部 計画課

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地  
 TEL：042-335-4335 (直通) FAX：042-335-0499  
 Mail：tosikei01@city.fuchu.tokyo.jp

問2 あなたの住まい周辺の環境の現状について、どのような印象をお持ちですか。

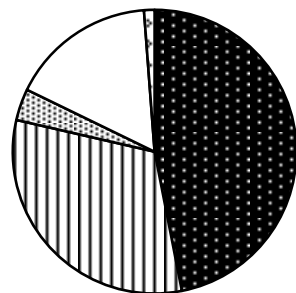


⇒「満足」「やや満足」と回答した割合は、「①陽当たりや風通し」「⑩総合的に見たまちの住み心地」「⑨日頃の買物のしやすさ」において高い一方で、「⑧災害時のまちの安全性」「②歩行者や自転車の安全性」「⑦震災時の避難や緊急活動のしやすさ」では低くなっています。

問3 西原町2～4丁目地区の今後のまちづくりの方向性について、お答えください。

問3-1. 「低密度住宅ゾーン」についてお伺いします。

ア. 「まちの将来像」に関するイメージ



■ 一戸建て住宅が中心の住宅地	…46.9%
▨ 一戸建て住宅やアパートなどが調和して建つ住宅地	…31.7%
▤ 一戸建て住宅やアパートなどと比較的大きなマンションが調和して建つ住宅地	…3.6%
□ 住宅と小さな店舗・事務所も共存するまち	…16.6%
▧ その他	…1.2%

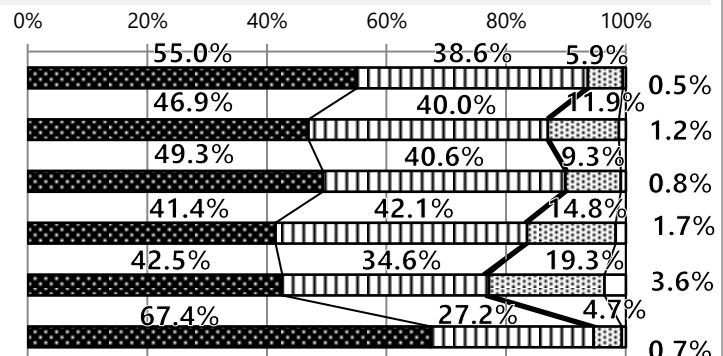
「⑤その他」 (抜粋)

- ・老齢のため、ちょっとした店があったらうれしい。
- ・買い物等の不安がない環境
- ・道路幅や各々の建物の間隔もある風景
- ・敷地及び塀から立木等がはみ出さない様にする。
- ・住人の年齢が若者から老人までバランスよく。
- ・西原町としてのテーマがほしい。色や形等

⇒「一戸建て住宅が中心の住宅地」が5割弱と最も高く、次いで「一戸建て住宅やアパートなどが調和して建つ住宅地」が3割程度、「住宅と小さな店舗・事務所も共存するまち」が2割弱となっています。

イ. 「まちの将来像」を目指した取組

- ①隣地との敷地境界から、ある程度の距離を取って建物を建てるようにする
- ②建物の密集を避けるため、敷地が小さく分割されないように規制する
- ③震災時に倒壊の危険性のあるブロック塀などの設置を規制する
- ④敷地まわりの緑やゆとりを確保するため、敷地の緑化を進める
- ⑤住戸面積の狭いアパートやワンルームマンションの建設を抑制する
- ⑥狭い道路の拡幅や道路の隅切りを確保する



■重要 □やや重要 ▨あまり重要でない □重要でない

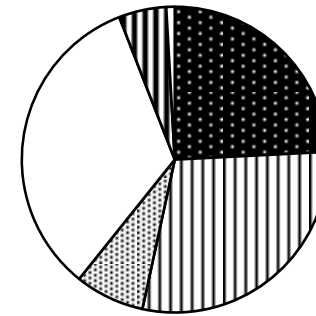
「⑦その他、重要だと思うこと」 (抜粋)

- ・子どもに安全なまちづくり
- ・道路は歩道と車道の区別をする。
- ・自動車の通過する道路が狭い。
- ・街灯を明るくしてほしい。
- ・日常の買い物がしやすい町
- ・防犯カメラの設置
- ・子どもの遊べる公園
- ・駐車スペースからはみ出している車や路上駐輪がある。

⇒「重要」「やや重要」と回答された割合は全体的に高く、「①隣地との敷地境界から、ある程度の距離を取って建物を建てるようにする」「⑥狭い道路の拡幅や道路の隅切りを確保する」については9割を超えています。

問3-2. 「中密度住宅ゾーン」についてお伺いします。

ア. 「まちの将来像」に関するイメージ



■ 一戸建て住宅が中心の住宅地	…24.2%
▨ 一戸建て住宅やアパートなどが調和して建つ住宅地	…29.2%
▤ 一戸建て住宅やアパートなどと比較的大きなマンションが調和して建つ住宅地	…7.3%
□ 住宅と店舗・事務所も共存するまち	…33.3%
▨ 店舗・事務所が中心のまち	…5.0%
▧ その他	…0.9%

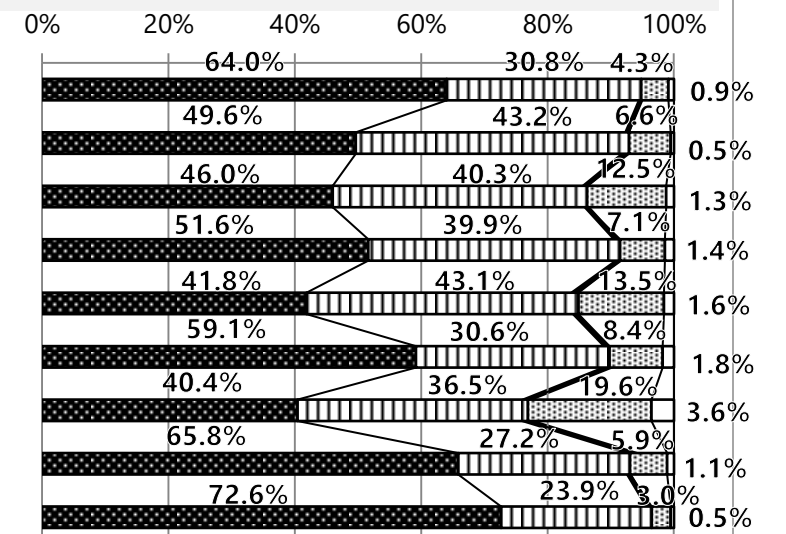
「⑥その他」 (抜粋)

- ・コンビニもあるとよい。
- ・皆が集まる大型公園
- ・家の近くで日用品が買えるようなまち
- ・建物に高さ制限があるとよい。

⇒「住宅と店舗・事務所も共存するまち」が3割強と最も高く、次いで「一戸建て住宅やアパートなどが調和して建つ住宅地」「一戸建て住宅が中心の住宅地」が高くなっていますが、目立った突出は見られません。

イ. 「まちの将来像」を目指した取組

- ①周辺の住宅地に配慮して、建物の高さを適切に抑制する
- ②隣地との敷地境界から、ある程度の距離を取って建物を建てるようにする
- ③建物の密集を避けるため、敷地が小さく分割されないように規制する
- ④震災時に倒壊の危険性のあるブロック塀などの設置を規制する
- ⑤敷地まわりの緑やゆとりを確保するため、敷地の緑化を進める
- ⑥住宅地にふさわしくない店舗や事務所等の立地を防ぐこと
- ⑦住戸面積の狭いアパートやワンルームマンションの建設を抑制する
- ⑧狭い道路の拡幅や道路の隅切りを確保する
- ⑨災害時の避難路や緊急輸送道路となるよう、沿道建築物を燃えにくく、壊れにくい建物にする



■重要 □やや重要 ▨あまり重要でない □重要でない

「⑩その他、重要だと思うこと」 (抜粋)

- ・七小通りの無電柱化
- ・商店街等は必要だと思う。
- ・騒音対策
- ・ブロック塀のない道路がよい。
- ・防犯カメラの設置
- ・街路の美観
- ・信号のない横断歩道に信号をつけてほしい。
- ・歩道の拡幅と安全性の確保

⇒「重要」「やや重要」と回答された割合は、「⑨災害時の避難路や緊急輸送道路となるよう、沿道建築物を燃えにくく、壊れにくい建物にする」「①周辺の住宅地に配慮して、建物の高さを適切に抑制する」において高くなっています。